

結果写真撮影の手引き

フォトコンテスト
上位入賞の撮影ポイント

＼ 動画公開中 /



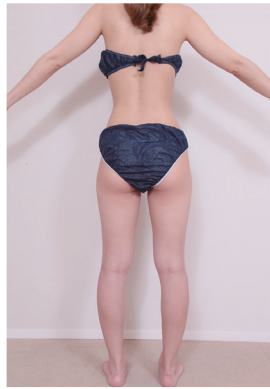
トリートメントを行う部位の変化が一番わかりやすいアングルで撮影してください。

撮影する際のカメラの設定は、写真サイズ1200×1600ピクセル(画素)以上を推奨します。画質モードは「高画質モード」や「ファインモード」などの高画質設定で行ってください。また、撮影した画像のデータサイズは小さくしないでください。(トリミングは可)



ボディ

※エステ用の下着・水着等、素肌が多く見える格好で撮影してください。



全身(正面、背面、横)

- 背筋を伸ばし、常に同じポーズで撮影してください。
- 腕の上げ方や脚の開き方など、常に一定の幅になるよう注意します。



ふともも、ふくらはぎ

- 足は一定の幅で立ち、腰からかかとまで入るようにします。

撮影のPOINT

- ① Before撮影時、「**太ももの内側が接触するかしないかギリギリ**」になるように両足の距離を開けて撮影する。この時、**床に印**をつけておく。
- ② After撮影時、①で定めた両足の距離になるようにして撮影する。

Beforeに対してAfterで太ももの隙間が広がっていれば、太ももの外周が小さくなったことが一目でわかります。逆に足の幅が狭すぎて太ももの内側が接触してしまっていると、サイズダウンしても太ももの隙間が見えず、変化が分かりにくくなります。



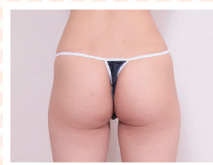
ウエスト、腹部

- へそを中心にアンダーバストから股上10cmくらいまで入るようにします。



二の腕

- 両腕を広げ、肩から肘まで入るようにします。トリートメント前後で腕の角度が変わらないようご注意ください。



ヒップ

- ウエストから股下10~15cmくらいまで入るようにします。



フェイス

※メイクは必ず落とした状態で撮影してください。



顔全体(正面、ななめ、横)

- 最も結果がわかりやすい方向から撮影するのがベストです。
- 髪がかからないように顔全体を出してください。
- 可能な限り、同じ髪型で撮影してください。(髪をまとめている場合とおろしている場合では、肌のたるみなどが変わってしまいます)
- 常に同じ表情で撮影してください。

撮影のPOINT

ボディ、フェイス共に「トリートメント部位全体が映っている写真」と「特に結果の出ている箇所のアップ写真」の両方があるとより分かりやすく伝わります。



こんな写真には要注意!



どんなに良い結果が出ていても、写真がうまく撮れていないと受賞を逃してしまうことに…
下記の点に注意するだけでも、写真のレベルが格段とアップしますので、ご参考にしてください。

✕ 撮影場所が違う、背景が複雑

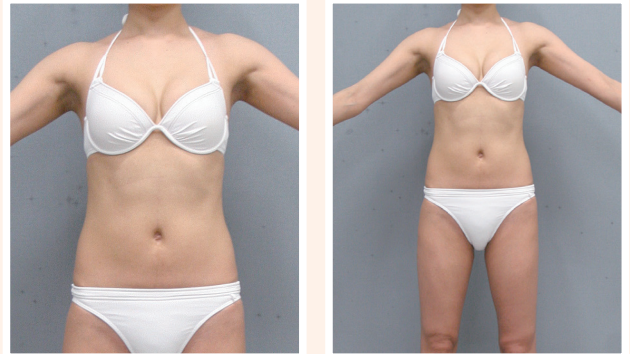
撮影場所が変わると、背景色や照明の明るさの違いなどによって、結果の印象が変わってしまいます。



- こうすれば GOOD!!**
- 撮影場所は背景に何も無い、常に同じ場所で!
 - 時間によって明るさが変わるため、自然光の入る場所では撮影しない!

✕ カメラとモデルの距離が違う

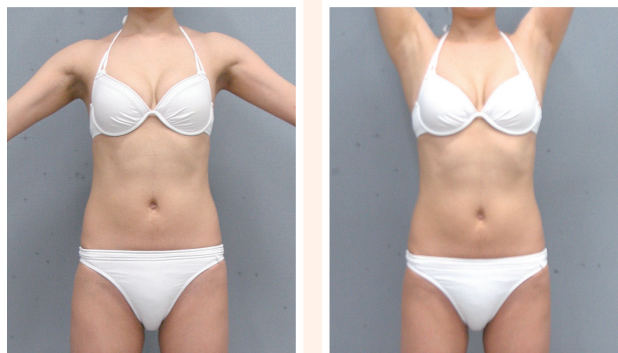
カメラとモデルとの距離が変わると、変化が分かりにくくなってしまいます。



- こうすれば GOOD!!**
- カメラの位置とモデルの位置を決めて、床にマーキングしておく!

✕ モデルの姿勢、下着が違う

モデルのポーズや、下着の色・形、履き方の違いで、見え方が大きく変わってしまいます。



- こうすれば GOOD!!**
- 一番最初に撮影した写真を手元に置いて、可能な限り同じ下着を着用し、同じポーズで撮影する!

✕ 足の開き方が違う

モデルの足の開き方が違ってしまうと、太さまで違って見えてしまいます。



- こうすれば GOOD!!**
- 足の幅は、測っておくか両足の位置をマーキングしておく!

✕ ピンボケになっている

意外と多い初歩的なミス。ボディラインやフェイスライン、肌の質感など非常にわかりにくくなってしまいます。



- こうすれば GOOD!!**
- 手ブレ防止機能の付いたカメラを使う!
 - カメラのオートフォーカス機能でピントを合わせる!(シャッターボタンを軽押し)
 - 撮影するときには脇をしめてブレないように!三脚を使うと、よりGOOD!
 - 撮影した写真をモニターで拡大して確認!
 - 何枚か撮っておき、いちばん写りの良いものを選ぶ!

✕ フラッシュの有無

撮るたびにフラッシュを使ったり使わなかったりすると、変化がわかりにくくなってしまいます。



- こうすれば GOOD!!**
- カメラの設定は常に同じに!
 - 一番最初に撮影した写真を手元に置いて確認!
 - フラッシュを使う場合、色が白く飛んでしまわないよう注意!